

## 第14回ハイブリッド市民公開講演会～MS/NMOSD等～

本年も昨年同様、会場とオンラインのハイブリッド形式で市民公開講演会を開催いたしました。会場は(株)三栄コーポレーションの8階ラウンジをお借りしました。

第1部は当協会田平理事長の挨拶で開会。令和6年度医学研究助成審査委員長の山村理事より、審査に関する説明と医学研究助成を受賞した3名の先生方の研究内容概要の紹介がありました。その後、英国MSIF(多発性硬化症国際連合)の新しいCEOであるDr.Lydia Makaroffからのメッセージが紹介されました。

第2部は基調講演2題。座長の糸山泰人理事の基調講演に関する紹介の後、関西医科大学総合医療センター脳神経内科講師の藤井ちひろ先生による「多発性硬化症と共に生きるために」、そして九州大学病院脳神経内科学診療准教授の眞崎勝久先生による「視神経脊髄炎における治療の進歩」の講演が行われました。(基調講演後、会場参加者とオンライン視聴者から非常に分かりやすい講演でした、とのコメントがありました。)

第3部はパネルディスカッションです。テーマは「みんなで学ぶMS・NMOSD・MOGAD」。

(MSは多発性硬化症、NMOSDは視神経脊髄炎、MOGADはMOG抗体関連疾患。)

福島県立医科大学医学部多発性硬化症治療学講座教授、藤原理事が司会、東京女子医科大学医療安全科・脳神経内科兼務教授の清水理事、関西医科大学総合医療センターの藤井先生、九州大学病院の眞崎先生の3名の先生と患者会5団体の代表の皆様(中田郷子様、田村大作様、狐崎友希様、深川華代様、桑野あゆみ様)が各自団体の紹介と代表質問を交えて存分にパネリストとしてお話をしてくれました。4名の先生方は、さらに視聴者様より事前のご質問に対してご丁寧にご対応してくれました。(パネルディスカッション後、会場とオンラインの多くの視聴者から称賛のコメントをいただきました。)

最後に田山副理事長の閉会の挨拶となり多くの方にご参加あるいはご視聴いただいた3時間10分ほどの市民公開講演会が終了しました。各演者の皆様、後援の5患者団体の皆様、司会の弓倉さん、ボランティアの皆様に深く感謝申し上げます。この講演会のアーカイブ配信は、当協会のHP <http://www.jmss-s.jp/> のYoutubeにて一般公開しておりますので、是非ご視聴お願いします。また来年の第15回市民公開講演会で再びお会いできるのを楽しみにしております。日本MS協会一同より

田平理事長開会挨拶



眞崎先生基調講演

山村先生の医学研究助成講評



パネルディスカッション(8名)と

ビデオメッセージの田村事務局長

藤井先生基調講演



演者全員と当協会理事、司会者

